

教科(科目)	福祉(社会福祉基礎)	実施学年 (履修規定)	第2 学年 必修
単位数	2 単位	教科書	人間の理解(中央法規) 社会と制度の理解(中央法規)
		副教材	社会福祉基礎(中央法規)
科目の目標	・社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	・日常生活と社会保障制度との関連について考えさせるとともに、対人援助の視点から福祉の支援が行われる必要性を理解させる。 ・社会保障制度の基本的な仕組みや社会福祉の各分野が生まれてきた社会的背景、各分野の課題について考えさせることをねらいとして取組む。		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	社会保障のしくみ	○社会保障の基本的考え方 ○日本の社会保障制度の発達 ○日本の社会保障制度のしくみ ・社会保障制度の体系	1 年学習内容復習テスト  確認テスト	・日本の社会保障制度のしくみについておおまかな理解ができています。
5		・各種社会保険の概要 ・各種社会扶助の概要	授業観察	・年金・医療・雇用等の各種社会保険や公的扶助等の社会扶助についての理解を深めている。
中間考査(内容把握, 日本の社会保障制度のしくみ等について)				
6	社会保障のしくみ	○現代社会と社会保障制度 ・少子高齢化の進行と社会保障 ・財政問題と社会保障制度	確認テスト	・少子高齢化の進行と社会保障について, ライフコースと関連づけて理解できている。
7		○社会福祉サービスと社会福祉施設 (介護実習24日間)	課題レポート (介護実習事前施設研究)	・介護実習先の施設について種別等理解できている。
期末考査(内容把握, 社会保障制度と社会福祉サービス等について)				
8	夏季休業		課題レポート	
9	介護保険のあり方	○介護保険制度創設の背景と目的 ・高齢化と要介護状態の進行 ○介護保険制度のしくみ ・介護保険制度の仕組みの概要 ・地域支援事業	確認テスト  授業観察	・高齢者の将来推計等と各制度が生まれてきた背景や理念について理解できている。 ・介護保険制度のしくみやサービスの概要と現状, 今後の課題が理解できている。 ・高齢者虐待とその予防について正しく把握できている。
10		○介護保険制度にかかわる組織とその役割 ・国・都道府県・市町村の役割 ・年金保険者・医療保険者の役割 ・国民健康保険団体連合会の役割	確認テスト 授業観察	・介護保険制度にかかわる組織の概要が認識できている。
中間考査(内容把握, 介護保険のしくみ等について)				

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 1	障害者の自立支援を担う法制度のあり方	○障害者の自立とその支援制度 ・障害と障害者の概念 ・障害者と自立 ○障害者自立支援制度のしくみ ・障害者自立支援法の制定とねらい ・障害福祉サービスの種類と内容 ・障害福祉サービス利用の流れ	授業観察 ノート グループ発表  確認テスト	・障害者を支える社会サービスについて、障害者自立支援制度と関連づけて理解できている。 ・社会福祉サービスの現状を理解し、その課題について考察することができる。
1 2		○障害者自立支援制度にかかわる組織とその役割	学習プリント 授業観察	・各制度が生まれてきた社会的背景や組織について考える。
期末考査（内容把握、障害者の自立支援にかかわる法制度等）				
1	介護実践にかかわる諸制度	○人々の権利を保護する諸制度 ・サービスの利用にかかわる諸施策 ○保健医療にかかわる諸施策 ・健康日本21 ・生活習慣病予防のための諸施策	授業観察  確認テスト	・日常生活自立支援事業、成年後見制度等の制度を理解し、介護職に求められる権利擁護の視点を学ぶ。 ・介護実践において関係の深い疾病対策や健康づくりの施策を理解する。
2		○医療にかかわる法と諸施策 ・医療関係者に関する法制度 ○生活を支える諸制度のあらまし ・生活保護制度 ・社会手当	ノート	・介護実践において関連の深い医療機関や医療従事者の制度を学び、医療行為の概念を理解する。
3		○高齢者・障害者の住生活を支援する諸制度 ・福祉施設による生活の場の確保 ・住宅の確保の支援		・地域でのセーフティネットとしての生活保護制度、生活を支援する社会手当等について理解し、障害者や高齢者が地域で生活するための自立支援について考えようとしている。
学年末考査（内容把握）				

評価の観点及び趣旨

①関心・意欲・態度

社会福祉に対する関心を持ち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組むとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る創造的、実践的な態度を身につけている。

②思考・判断

日常生活から派生する社会福祉に関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、社会福祉の意義や役割について適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。

③技能・表現

社会福祉に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。

④知識・判断

現代社会における社会構造の変容や特色について把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の理念について、その意義や役割を理解している。

「社会福祉基礎」の総合評価における各観点の割合

- ① 関心・意欲・態度 20 %程度      ② 思考・判断 20 %程度  
③ 技能・表現 20 %程度      ④ 知識・理解 40 %程度